

私を変えた先生との出会い

私がM先生に出会ったのは、小学校1年の時だ。

小学校時代の私は、自分ではあまり覚えていないが、活発に活動する子どもではなく、大人しい子どもだったと周りから聞いた。私は、ほぼ毎日学校に行っていたが、体調を崩しやすく時々休むこともあった。休んだ日のプリントや課題等は、近くに住む友だちが届けてくれた。そのプリントが入っている封筒には、担任であるM先生からのメッセージが必ず入っており、休んだ日はそれが楽しみであった。メッセージには、もちろん、早く治ってくださいね等の言葉が書いてあり、その日あった出来事まで書かれてあって、素敵な先生だと感じていた。

ある日、授業中に友達がおもらしをしてしまい、周りにいた他の友だちは、ただ見ていられるだけで、誰も助けようと行動に移すことはなかった。しかし、そのとき、活動的でなかった私が雑巾を持ってきて、床を拭いたそうだ。私は明確には覚えていないが、この事は担任のM先生と母から聞いて知った。床を拭き終わった後、担任のM先生から、「あなたはとても優しい子だ。きっと心優しい素敵な女性になる。そして、立派な大人になる。」と言われた。私はその言葉を忘れずに、13年間過ごしてきた。私はこの頃から、M先生みたいな教育者になりたいという夢を持ち、それからずっとその夢を叶えようと、大学で免許取得のために頑張って勉強をしている。

小学校以来、私はM先生と会っていない。いつか会った時には、必ずお礼を言おうと思っているが、なかなか会うことができず、連絡先も不明なためとても残念に思う。しかし、2年後、私は20歳で成人を迎える。その時に、是非ともM先生に会ってお礼を伝えたいと思う。そして、M先生のような素敵な先生になれるように、大学4年間しっかり勉強をして、採用試験に合格できるよう、日々精進していきたいと思う。

富永 雛子
(大学生)